

1. 横浜市環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	343,188,849	
	内訳	うち、国費相当額	171,594,424
		うち、地方負担相当額	171,594,425
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	11,711	
③	その他収入	17,474,185	寄附金
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	70,946,206	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	289,728,539	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	144,864,269
		うち、地方負担相当額	144,864,270
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高	289,728,539	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)	322,533,000	
⑩	保有割合	0.898	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠□
 運用型: 運用益見込額÷事業費 (次年度見込額) □
 取崩型: 基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	環境にやさしいライフスタイル推進事業	3,812,975	0	3,812,975		90%	4,439,000	13,317,000
2	生物多様性保全推進事業	3,536,300	2,147,662	1,388,638		90%	5,832,000	17,496,000
3	地域環境活動等支援事業	120,369,568	57,011,635	63,357,933		90%	93,397,000	280,191,000
4	豊かな海づくり事業	198,000	0	198,000		90%	200,000	600,000
5	企画事業	4,510,268	2,321,608	2,188,660		90%	3,643,000	10,929,000
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		132,427,111	61,480,905	70,946,206			107,511,000	322,533,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。	
成果実績	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合: 87.8%	
目標値	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合: 98%	
達成度	89.6%	

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	環境にやさしいライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境にやさしいライフスタイル推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境創造局政策課（R6年度：みどり環境局環境活動事業課）	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

目的

市民や企業の環境への関心の高まり、意識・行動の変化を捉え、環境にやさしいライフスタイルの普及につながるためのプロモーションを展開する。

目標

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。
（環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：2026年までに98%）

2. 概要

市民や活動団体、企業等と連携しながら、生物多様性保全や地球温暖化対策、省エネなどの環境保全活動に市民や企業が日常的に取り組むよう、環境にやさしいライフスタイルを推進していく。

3. 根拠法令等

環境基本法、生物多様性基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、横浜市環境管理計画（環境教育等行動計画、生物多様性横浜行動計画）、横浜市地球温暖化対策実行計画

4. 実施内容等

- ・環境プロモーション
生物多様性をはじめとする横浜市の環境に関する取組を、イベントや図書館と連携したパネル展示等でPRした。また、環境関連事業を所管する局と連携して、スポーツ選手を起用した環境行動啓発ポスターを作成し、掲出した。
- ・子ども「エコ活。」大作戦！
小学生にチェックシートを配布し、家庭・地域での環境行動の取組を推進した。また、この取組を支援する企業が国際機関を通じて寄附を行い、海外の環境保全活動の支援を行った。
- ・普及啓発キャンペーン
企業との協働により、環境配慮型商品の選択・購入（エシカル消費）を呼びかける市民参加型のSNSキャンペーンを実施した。

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性保全推進事業	開始年度	平成31年度
担当部署	環境創造局政策課（R6年度：みどり環境局環境活動事業課）	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>目的 「環境管理計画（生物多様性横浜行動計画）」の推進に向け、市民や企業、市民団体等と連携し、生物多様性の普及啓発を展開する。</p> <p>目標 市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。 (環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：2026年までに98%)</p>
--

2. 概要

<p>「環境管理計画（生物多様性横浜行動計画）」の普及啓発、取組方針の実現に向けた検討、市民の生物多様性に対する理解促進、市民による生物多様性の取組に対する支援等を行う。</p>

3. 根拠法令等

<p>生物多様性基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、環境管理計画（生物多様性横浜行動計画）、横浜市附属機関設置条例、横浜環境活動賞実施要綱</p>

4. 実施内容等

<ul style="list-style-type: none">・環境教育出前講座（生物多様性でYES！） 地域・学校を対象に生物多様性や環境全般について学ぶ場を提供した。・活動支援事業 横浜環境活動賞審査委員会を開催した。・生物多様性普及啓発等推進 スポーツクラブと連携し、サッカーをしながら生物多様性について学ぶ体験型イベントを実施した。 また、イベント等で普及啓発物品を配布した。

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	地域環境活動等支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	公園愛護会活動等支援事業	開始年度	平成30年度
担当部署	環境創造局公園緑地維持課（R6年度：みどり環境局環境活動事業課）	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>目的 公園愛護会の身近な公園の地域主体による管理・運営を支援し、公園から広がる地域まちづくりから、地域環境活動のPRをおこない促進をはかる。</p> <p>目標 市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。 (環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：2026年までに98%)</p>

2. 概要

<p>身近な公園の地域主体による管理・運営のため、公園愛護会に対する謝金の交付に加え、フォローアップを取り入れた多様な技術支援、用具から広報品に及ぶ必要物品の提供支援を展開する。 愛護会の連携やPR強化に向けては、愛護会相互の交流の機会である各区の愛護会のつどいを支援するとともに、様々なイベントの機会をとらえながら、広く一般への事業PRを推進する。</p>

3. 根拠法令等

<p>都市公園法、横浜市公園条例、横浜市公園愛護会事務取扱要綱、横浜市公園愛護会表彰要綱</p>
--

4. 実施内容等

<p>①公園愛護会の活動に対する報償費支出（活動面積に応じ2万円～4万円/団体） ②物品支援:活動に必要な物品提供（ゴミ袋・竹箒・活動中看板等の支給等） ③愛護会のつどい・通信:愛護会間の連携強化を図るイベント実施、行政と愛護会との情報交流（各区つどいの開催、愛護会通信の発行） ④公園愛護会表彰:永年の功績をたたえ個人と、顕著な活動のあった団体等を表彰。 ⑤公園愛護会への現地支援を行う維持管理支援班による技術支援</p>
--

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	豊かな海づくり事業	新規・継続区分	継続
事項名	豊かな海づくり事業	開始年度	令和4年度
担当部署	環境創造局環境科学研究所（R6年度：みどり環境局環境科学研究所）	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

目的

イベント等を通して、横浜の海や生き物の現状など、横浜の海環境について普及啓発を推進する。

目標

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。
（環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：2026年までに98%）

2. 概要

環境教育、出前講座、イベント等の実施により、横浜の海の環境等について普及啓発を推進する。

3. 根拠法令等

生物多様性国家戦略、海洋生物多様性保全戦略、横浜市中期計画、横浜市環境管理計画、横浜市水と緑の基本計画、横浜市地球温暖化対策実行計画

4. 実施内容等

・広報物等作成・PR活動
市民が海に親しむきっかけづくりとなる広報物等の作成や、イベント（ハマトラFESや海洋都市横浜うみ博）等での配布を通じ、横浜の海や生き物の現状について普及啓発を推進した。

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	企画事業	新規・継続区分	新規
事項名	企画事業	開始年度	令和5年度
担当部署	環境創造局政策課（R6年度：みどり環境局戦略企画課）	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

目的

「横浜市環境管理計画」の推進に向け、市民・事業者などあらゆる主体と連携し、主体的に環境行動する人を増やす。

目標

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。
（環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：2026年までに98%）

2. 概要

- ・環境に関する市民意識調査
環境に対する関心や行動等について意識調査を実施し、今後の環境教育や普及啓発の取組に活用

3. 根拠法令等

横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例

4. 実施内容等

- ・環境に関する市民意識調査
毎年、16歳以上の市民3,000人を対象に、環境への意識や環境行動の実践状況等について意識調査を実施する。本調査は、環境行動の浸透実態などを把握した上で、効率的に「環境にやさしいライフスタイル推進事業」等を展開することで、環境保全に関する知識を市民に普及啓発するために利用する。また、本調査に関し、記者発表やSNS等で積極的な広報を実施することで、市民が環境行動を知るきっかけをつくり、市民意識を醸成した。